

<東海公衆衛生雑誌 新体制について>

現状の抄録集への同時掲載をとりやめ、下記のように別の時期の発行に変更いたします。

	現状	移行期間 (2023年9月～2024年3月)	新体制 (2024年4月～)
投稿受付開始	10月初旬	2023年9月中旬	5月10日(GW明け頃)
早期割引締切	12月15日	2023年12月15日 (掲載料割引)	7月31日
最終締切	翌年2月15日		9月30日
校了(※1)	翌年5月31日	2024年2月29日	翌年1月31日
雑誌発行	7月初旬(学術大会日) 前半部分:学術大会抄録集 後半部分:論文、巻末資料	2024年3月予定(電子版)	3月予定(電子版) 学術大会抄録集とは分冊 (※2)
編集委員任期	10月1日～翌年9月30日	2023年8月1日～ 2025年3月31日	4月1日～翌年3月31日
備考		校了日までに校了とならなかった原稿は、9月にまとめてJ-STAGEで早期公開、2025年の3月発行の雑誌に掲載	校了日までに校了とならなかった原稿は、9月にまとめてJ-STAGEで早期公開、次の年の3月発行の雑誌に掲載

- 新体制では、5月から9月を投稿期間とし、翌年3月発行(電子版のみ)とし、これまでと同程度の早期割引期間(7月末まで)を設けます。
- 新体制では製本版の会員への配布はありません。
- 移行期である今年度(2023年9月期)については、今年度限りの投稿期間を9月から12月15日として設け(掲載料割引40%)、2024年2月末までに校了となった原稿のみを2024年3月発行の東海公衆衛生雑誌11巻第2号に掲載(電子版のみ)、2024年2月末の校了日までに校了とならなかった原稿はJ-STAGEの早期公開機能で2024年9月に公開し、2025年3月発行の東海公衆衛生雑誌第12巻第2号(※3)(電子版のみ)に掲載します。

※1 校了とは、単に採択(査読結果に基づく掲載の決定)ではなく、著者による雑誌の掲載フォーマットでの原稿(最終原稿)の作成、編集委員会による確認とそれに基づく修正指示への対応といった一連の作業の完了を言う

※2 学術大会抄録集(紙媒体)を第1号、論文を掲載したものを第2号(電子版のみ)とする。

※3 2024年発行の東海公衆衛生雑誌第12巻第1号は、第70回東海公衆衛生学会学術大会抄録集として2024年7月に大会事務局より発行。